

# 令和8年度

## まちづくり

## ハンドブック

沼田町の主な事業・町民向け事業のご紹介

# 令和8年度 沼田町政策予算全体概要

沼田町第6次総合計画

目指すまちの **子どもたちが誇りをもてる ふるさと創造 沼田町**

将来像

～夢とやさしさにあふれる 小さなまちの大きな挑戦～

重点  
戦略

全力宣言！その1

魅力！活気！元気！  
持続可能プロジェクト  
(農業・商工業関連)

全力宣言！その2

オンリーワン！  
世界に発信プロジェクト  
(資源・観光PR関連)

全力宣言！その3

沼田(こ)で育て  
良かった！  
こども応援プロジェクト  
(キャリア教育・子育て関連)

令和8年度は、人口減少に伴う地域経済の衰退等、依然として懸念される事案はあるものの、町が目指す将来像「子どもたちが誇りをもてる ふるさと創造 沼田町」の実現に向け、歩みを止めることなく、子育て教育環境の充実、関係人口の拡大を進めるとともに、高齢者を含めた雇用の場を創出し持続可能なまちづくりを目指し、町民の皆様と共に知恵と工夫を結集した中で、沼田町の明るい未来を目指す8つの重点項目の実現に向け以下の各種施策に取り組んでまいります。

また、沼田町第6次総合計画に掲げる重点戦略の堅実な遂行と併せて第3期沼田町総合戦略の推進のため、デジタルを活用して「効率性」「持続性」「経済性」を高め、町民の皆様がこの地で快適に暮らせる社会を目指し「にぎわいのあるコンパクトエコタウン」創りを進めていきます。



※工事費などに関連する取り組みについては、一部事業費の掲載をおこなっておりません。

# 01. 農業

## ■ NUMATA TOMATO TOWN 構想推進事業 Vol.2 予算:34,172千円

加工用トマト生産量日本一のまちを実現するため、下記の内容について取り組みます。

〈事業内容〉

新規

・加工用トマトおてつ旅導入事業 470千円

加工用トマトの収穫時期は稲刈りの時期と同じ頃であり、慢性的な人手不足が大きな課題となっていることから、おてつ旅事業を活用し課題の解消を図り、加工用トマト原料確保、関係人口創出拡大、加工用トマト魅力発信を図ります。

新規

・加工用トマト栽培支援事業 600千円

町民皆さんの家庭菜園でたくさんの加工用トマトを栽培いただくため、畑づくり(床づくり)の支援、栽培技術の指導を行い、加工用トマトの栽培に取り組みやすい環境を整え、家庭菜園事業参加者増加を図り、加工用トマト生産量日本一のまちを町民皆さんと一緒に目指します。

新規

・加工用トマト資材支援事業 450千円

近年の高温・干ばつ傾向、尻腐れ果多発により加工用トマトの収量が不安定となっていることから多発する尻ぐされ果の予防対策として灌水を実施する生産者に対し、灌水チューブの購入に必要な経費の一部の助成・栽培技術指導を行い収量増加を目指します。

新規

・加工用トマト収穫機械導入事業 26,000千円

加工用トマト栽培は温暖化・高齢化により収穫作業が大きな負担となっており、現在収穫は手収穫作業が主体となっておりますが、今後面積を拡大し収量増加を図るためには大規模な圃場での栽培が必要となることから、収穫機械・搬送機械の導入を支援し、栽培面積の拡大・収量増加を目指します。

拡充

・加工用トマト作付奨励事業補助金 4,000千円

近年、気候変化が著しく高温傾向で推移しており、加工用トマトの収量確保が難しくなっています。特産品の製造に必要なトマトジュース等の安定的な加工用原料トマトの作付面積の拡大・収量増加を目指し、奨励金の交付対象者並びに奨励額を拡充し、多くの方に加工用原料トマトを栽培いただけるよう図ります。

また、出荷原料の集荷分散(ピークカット)を図るため早期出荷を励行し、製造の平準化を図り、特産品の安定的な製造に取り組みます。

〈交付対象者拡充〉 全沼田町トマト生産組合員(町内生産組合員より全生産組合員へ拡充)  
全家庭菜園事業参加者(交付非対象から交付対象へ拡充)

〈奨励額拡充〉 沼田町トマト生産組合員 10円/kg(3円/kgから拡充)  
※また、沼田町トマト生産組合員には早期出荷励行として出荷が集中してしまう時期より早く出荷いただいた原料について10円/kgの奨励額に追加して3円/kg(合計13円/kg)の奨励額を交付します。家庭菜園事業参加者 3円/kg(非対象から拡充)

・加工用トマト育苗支援事業 1,350千円

加工用トマトの生産拡大に向け、育苗委託経費の一部助成を行い春先の労力軽減を図ります。

・加工用トマト拡大推進事業補助金 1,302千円

PRイベントや試食会、収穫体験事業を実施し加工用トマトの認知度向上を図ります。

担当課

農業推進課 35-2114



**新規** ■雪中米誕生30年記念事業

予算:600千円

雪中米の誕生とともに雪利用の取組み開始から30年を迎えることから、雪中米及び利雪に関する記念事業を実施し、雪中米ブランドの向上と「雪と共生するまちづくり」の推進を図ります。

担当課	農業推進課 35-2114
-----	---------------

**新規** ■米食味分析計購入事業

予算:23,650千円

米穀低温貯留乾燥調整貯蔵施設で使用している米食味分析計は、平成19年度に導入し稼働から19年を経過し老朽化している状況にあるため機器更新による能力の向上を図ります。

担当課	農業推進課 35-2114
-----	---------------

**新規** ■水利施設等保全高度化事業(共成揚水機場)

予算:3,900千円

共成揚水機場において令和6年に機器が故障し用水供給が不能となる事態が発生したことから、用水の安定供給機能を強化するため整備事業の実施を計画しており、機能診断経費をガイドラインに基づき負担します。

担当課	農業推進課 35-2114
-----	---------------

**拡充** ■食料貯蔵流通加工基地構想要請活動事業

予算:3,704千円

雪冷熱エネルギーを活用した政府備蓄米倉庫の設置等、食料貯蔵流通加工基地構想の実現に向けて国への要請等の活動を進めます。

担当課	農業推進課 35-2114
-----	---------------

## ■中山間地域等直接支払交付金事業

予算:115,836千円

・第6期対策(R7~R11)の2年度目となります。

面 積		事 業 費	地 元 負 担 額		
田	急傾斜	680,349 m <sup>2</sup>	14,287 千円	1/4	3,572 千円
	緩傾斜	12,642,900 m <sup>2</sup>	101,144 千円	1/4	25,286 千円
畑	緩傾斜	77,224 m <sup>2</sup>	270 千円	1/4	67 千円
	計	13,400,473 m <sup>2</sup>	115,701 千円	1/4	28,925 千円
事 務 費			135 千円		15 千円
合 計			115,836 千円		28,940 千円

担当課	農業推進課 35-2114
-----	---------------

## ■中山間携帯電波不感地域通信対策事業

予算:16,099千円

町内の中山間地域の携帯電波不感地域(真布地区2か年目)において、スマート農業の推進、また地域住民の防災面や安心・安全のまちづくりの観点から通信対策(インターネット環境の構築)を実施します。

担当課	農業推進課 35-2114
-----	---------------



## ■多面的機能支払交付金事業

予算:125,539千円

法制化により、平成27年度から国(2/4)・北海道(1/4)の補助金を町予算に計上し、町負担(1/4)とともに活動組織へ交付する方式となっています。

面積		事業費	町負担額	
田	2,880.38 ha	113,477 千円	1/4	28,370 千円
畑	915.03 ha	11,752 千円	1/4	2,938 千円
計	3,795.41 ha	125,229 千円	1/4	31,308 千円
事務費		289 千円		18 千円
合計		125,518 千円		31,326 千円

担当課 農業推進課 35-2114

# 02.中山間事業

※事業の実施決定は、令和8年4月となるため、今後変更になる場合もあります。

## ■稲作経営超低コスト化体質強化事業

生産資材費の高騰による農業生産コストの増大により、農業経営に影響が出ていることから、生産コストの低減が稲作農業の体質強化に不可欠であることから、コメの大幅な生産コスト削減を目指し、コスト削減に向けた取組の検討を進めます。

担当課 農業推進課 35-2114

## ■初冬直播き栽培検証事業(稲作経営超低コスト化体質強化事業の予算内で実施)

初冬の田に稲の種子を直播きし、そのまま土中で越冬させ、翌春に発芽・苗立ちさせる新しい作型の栽培検証を行い、超繁忙期である春作業の負担軽減、省力・低コストで規模拡大への対応を図るための検証を行います。

担当課 農業推進課 35-2114

## ■水稻低コスト省力栽培技術導入支援事業

農業者数の減少に伴い、1戸当たりの経営面積が拡大している中、労働負担の軽減を図っていく必要があることから、春作業の省力化、生産コストの削減に向け、省力栽培技術の導入を支援します。

《事業概要》

・省力栽培技術を導入する農業者に支援を行います。

《支援内容》

・直播(乾田・湛水)栽培 (10a/4,000円)

・高密度播種苗栽培、疎植栽培(10a/2,000円)

※1年目は取り組んだ面積で交付し、2年目以降は増加面積に対して交付します。

ただし、交付面積は両取組併せて20haまでとします。

担当課 農業推進課 35-2114

## ■低コスト生産に向けた土壌診断推進事業

肥料や燃油等の生産資材費が高騰し、農業を取り巻く情勢が厳しさを増す中、土壌診断に係る支援を行い、適正施肥を推進し施肥コストの低減、作物の収量安定を図り、低コスト化生産を推進します。

《事業概要》

・対策期間 令和6年度から令和8年度までの3年間

・土壌分析費用(水田/1点あたり)の全額を助成します。(町50%+JA50%)

・土壌分析は1ha当たり1サンプルとし、町内全農業者の圃場を3年間かけて実施します。

担当課 農業推進課 35-2114



## ■土づくり推進事業(高品質・収量安定生産の推進)

事業区分	補助率	限度額
土壌診断費支援	－	生産者負担100円/1サンプルとし差額助成
土壌検査費支援	1/2	限度額5,000円

担当課 農業推進課 35-2114

## ■6次産業化応援事業

事業区分	補助率	限度額
6次産業化に係る研修会受講経費助成	－	100千円/1個人・1グループ
新商品開発に向けた専門機関への相談等に要する経費助成	2/3	1,000千円
販路拡大に係る経費助成(商談会への出展費用等)		500千円
食品表示法改正による既存商品のラベル張替		

担当課 農業推進課 35-2114

## ■配偶者対策事業

事業区分	事業概要
グループ婚活事業支援	関係者による婚活事業開催に関する支援
アグリパートナー対策推進事業	都市部女性との交流会開催・結婚相談所の会員料助成
結婚祝い金支給事業	農業者が結婚した場合に祝い金を支給

担当課 農業推進課 35-2114

## ■農業担い手育成支援事業

事業区分	補助率	限度額	事業概要	
研修費用助成	国内	一般	100千円	対象外経費：食料費
		後継者・新規就農者	200千円	
	国外	9割	500千円	
ごはんソムリエ等資格取得助成	9割	受講・受験料・認定登録料	300千円	対象外経費：資格更新経費・食料費

担当課 農業推進課 35-2114

## ■農業担い手営農サポート事業

沼田農業の持続的、安定的な発展を図るため、担い手となる農業者が必要とする資格の取得に要する経費の一部を助成します。

《事業概要》

- ・対象者 町内に住所を有する49歳以下の農業従事者
- ・助成内容 農業経営に必要となる資格取得に要する経費を助成(補助率1/2、上限100千円)
- ・対象とする資格

(沼田自動車学校で取得するものに限る資格)

- ①大型特殊免許
  - ②中型免許
  - ③大型免許
- (取得場所を問わない資格)
- ④フォークリフト運転技能講習
  - ⑤玉掛け技能講習
  - ⑥小型移動式クレーン運転技能講習
  - ⑦けん引免許

※補助は①～⑦合わせ上限額までとする。(1回限り)

担当課 農業推進課 35-2114



## ■地域交流・消費拡大対策事業

事業区分	事業概要
都市との交流事業	都市住民との交流による農業体験
農業体験事業	米づくりに関する一連の農業体験（田植・稲刈等）の提供
農産物PR販売事業	雪中米・地場農産物のPR販売

担当課 農業推進課 35-2114

## ■その他対策事業

事業区分	事業概要
有害鳥獣対策	鹿処理経費（止め矢）・アマガサ箱罟経費・銃器取得助成、鳥獣頭数等生態調査
ICT関連事業	<p>継続：新たな農業の未来をつくるスマート農業推進事業補助金 （スマート農業技術機械・設備等の導入支援）</p> <p>継続：ホクレンRTKシステム利用料助成 スマート農業研究会による検討推進</p>

担当課 農業推進課 35-2114

# 03. 商工業

## 新規 ■まちづくり支援人材派遣事業

予算：7,100千円

沼田町の地域産品の販路開拓及び拡大の取組を強化するために民間事業者から専門的な知見を有する人材の招聘をし、沼田町の経済活性化を図ります。

担当課 産業創出課 35-2155

## ■沼田町特産品普及促進事業（クラフトビール）

予算：2,100千円

人と人をつなぎ、地域を結び、大きくグローバルに広がっていくというクラフトビールの性質を生かし、普及・促進を行います。

また、町内製造・町内外流通を促すことで、産業創出や商工振興を図るとともに関係人口の拡大に寄与します。

＜事業概要＞

・販促活動費

担当課 産業創出課 35-2155

## ■沼田町食の魅力発信拠点運営事業

予算：19,992千円

北海道で最も集客力のあるスポットの一つである「エスコンフィールド北海道」へ訪れる方が多くが利用する北広島駅前の施設「トナリエ北広島」内で沼田町の産品や飲食を取り扱うアンテナショップを通年開設し、沼田町を全道・全国・世界へ発信し町のPRを行うとともに、税収及び事業収入の増を図ります。

担当課 産業創出課 35-2155

# 04. 企業誘致

## 新規 ■ 沼田版シリコンバレーLAB構想の推進に向けた各種検討・協議

予算:7,100千円

民間の専門人材を招聘し、構想の具体化や推進計画等の策定に向けた各種検討・協議を行います。

担当課 産業創出課 35-2155

# 05. 観光

## 新規 ■ 沼田町駅未来協議会補助事業

予算:1,800千円

JR留萌本線の全線廃止後、「交通空白地」となることを避け、イベントの開催などにより廃線となった後も中心市街地である駅周辺の賑わいを継続させていくとともに、駅をまちづくりの「新たなにぎわいの拠点」と位置づけ、町内外からヒト・モノ・カネ、情報などを引き寄せる戦略的な空間に向けて協議していきます。

担当課 産業創出課 35-2155

## 新規 ■ 観光情報プラザ改修工事

予算:32,000千円

多くの観光客が利用する観光情報プラザの給排水設備の改修や空調設備の設置等の工事を行い利用環境の向上を図ります。

担当課 産業創出課 35-2155

## 新規 ■ 教育旅行受入協議会補助金

予算:300千円

北海道内を中心に小学校、中学校、高校、スポーツチーム等における課外学習及び宿泊を伴う研修プラン調整のサポートを行い沼田町における教育旅行受入の質の向上を目指すとともに、まずは来てもらい、利用してもらうための環境づくりを行うための補助金を交付します。

担当課 産業創出課 35-2155

## 新規 ■ 沼田町夜高あんどん祭り50回記念事業

予算:20,000千円

富山県小矢部市より伝承を受け、昭和52年に第1回沼田町夜高あんどん祭りが開催されて以来、令和8年をもって50回目を迎えることから、節目を祝う事業を実施するため、夜高あんどん実行委員会へ補助金を交付します。

担当課 産業創出課 35-2155

## 新規 ■ 観光協会補助金

予算:2,680千円

観光協会において、各種催事・イベント等に参加し、観光PR・特産品PRを実施するための費用を補助します。また、令和8年3月をもってJR留萌本線が廃線となることから、廃止となるJR石狩沼田駅舎を観光協会の拠点施設として整備するための経費を補助します。

担当課 産業創出課 35-2155

## ■ 夜高あんどん継承事業

予算:14,429千円

WEB広告やSNS等を使った動画コンクールを実施し、また、当日にYouTubeによるLIVE中継を行い、全世界にお祭りの様子を発信し既存ファン層へのPR継続と新規ファン(若者等)を掘り起こします。

担当課 産業創出課 35-2155





## ■活！ぬまたステップアップ事業 予算:3,754千円

特産品・観光のPRなどを一元的に実施し、町内の魅力ある資源(ひと・もの)を結び付け「活力と活気あるまちづくり」を進めます。

担当課 産業創出課 35-2155

## ■沼田町ほたるの里 夏のSNOWマラニック2026事業 予算:2,500千円

豊かな自然やほたる、真夏の雪といった他には無い魅力的な資源を堪能してもらうとともに、各エイドにおいて特産品等の提供を行うなど、沼田町をまるごと味わってもらうことで交流・関係人口の拡大を図ることを目的に、ピクニック感覚で走ることのできるマラニックを開催します。

担当課 産業創出課 35-2155

## ■沼田町にぎわい交流創出事業 予算:1,655千円

農業や商工業等の分野を結んだイベントを開催することで町外からの誘客等、様々な人の交流でにぎわう町内の創出を図ります。

担当課 産業創出課 35-2155

## ■関係人口創出アドバイザー事業 予算:396千円

都市等との繋がりを築き、新しい人の流れ、地域資源・産業・特産品等を生かした稼ぐ地域、多様な人材の活躍の場、企業・大学等との連携を創出するためのアドバイザー業務を委託し、魅力あるまちづくりを効果的に進めます。

担当課 産業創出課 35-2155

## ■幌新地区魅力創造マイスター事業 予算:396千円

ほろしん温泉やそらち自然学校及び化石体験館が有機的な連携を図ることで、幌新地区の地域資源等を最大限に有効活用し企業等との連携や都市部、インバウンド等をターゲットにした新たな誘客の取組を加速させることを目的にマイスター業務を委託します。

担当課 産業創出課 35-2155

## ■幌新地区魅力発信事業交付金 予算:300千円

そらち自然学校・ほたる館・化石体験館・キャンプ場が連携し、幌新地区を盛り上げるための事業やイベントを定期的に開催するために必要な経費の交付を行います。

担当課 産業創出課 35-2155

# 06.子育て

## 新規 ■こども誰でも通園制度事業 予算:384千円

「こども誰でも通園制度」は、認定こども園等に通っていないお子さんを対象に、保護者の就労条件を問わずこども園に通園することができる新しい制度です。

担当課 保健福祉課 35-2120



**拡充** ■ がんばる高校生応援手当

予算:18,000千円

次世代を担う若者たちが夢を諦めることなく学業に専念できるよう、高等学校等へ就学する生徒の保護者を対象にしております「がんばる高校生応援手当」について、近年の物価上昇に伴う家計への影響を重く受け止め、増額いたします。

《事業概要》

対象高校生 25千円/月・人(10千円/月・人から拡充)

担当課

住民生活課 35-2115

■ 認定こども園保育料等無償化事業 無償化による町負担額 予算:8,466千円

令和元年10月から国による幼児教育・保育の無償化が実施されていますが、対象は1号認定(教育認定)・2号認定(3歳以上保育認定)の保育料であり、3号認定(3歳未満保育認定)及び給食費(主食・副食費)については保護者負担となっておりますが本町では安心して子育てしていただけるよう「完全無償化」を継続実施します。

担当課

保健福祉課 35-2120

■ 保育士人材確保事業

予算:1,300千円

保育士の不足は都市部だけでなく地方においても深刻な問題となっていることから、町内の保育施設に新たに就職される方に助成を行うことで町内就業を促し、安心して子育ていただける保育環境の向上を図ります。

《事業概要》

- 就業支度金 50千円 (就業時1回限り)
- 在宅準備支援金 100千円 (転入者1回限り)
- 就業支援 300千円 (1年間就業ごとに5年間助成)

担当課

保健福祉課 35-2120

# 07.教育

**新規** ■ めまたみらいわくわくアリーナプロジェクト事業

予算:7,150千円

将来の複合施設化を進めるにあたり、現状の共通認識や意見集約及び論点整理に必要な情報や助言を求め、基本構想や計画の策定業務を進めていきます。

担当課

教育委員会 35-2132

**新規** ■ 沼田町部活動地域展開推進事業

予算:4,924千円

国の部活動地域展開方針を受け、沼田町を含む北空知1市5町での取組を推進するため、部活動指導員の設置や、スポーツ指導者の資格取得補助、他市町と合同で行っている部活動場所までの送迎等を実施します。

・部活動指導員報酬	2,302千円
・部活動指導員費用弁償	417千円
・部活動送迎委託料	1,068千円
・公認スポーツ指導者資格取得補助金	400千円
・バス運行経費	535千円
・沼田町部活動地域移行推進協議会 委員報酬	173千円
・沼田町部活動地域移行推進協議会 費用弁償	29千円

担当課

教育委員会 35-2132



### 新規 ■卓球留学準備事業

年齢や体格、性別などに関係なく、いくつになっても続けられる生涯スポーツ「卓球」は、実績のあるクラブを招聘できれば小さな町でも一流の選手を育成できます。人間力を育てる「卓球留学」に向け、受入れ体制の準備を行います。

担当課 教育委員会 35-2132

### 拡充 ■沼田中学校修学旅行助成事業

予算:300千円

中学校の修学旅行費を助成します。これまでは助成金額10万円を生徒人数で割ることで負担軽減を図っていましたが、旅行費用の高騰を受け、生徒1人あたりの負担額を2万円軽減する形へと拡

担当課 教育委員会 35-2132

### ■沼田小学校学校備品整備事業

予算:106千円

これまで保護者負担で毎年購入していた教材(彫刻刀、裁縫セット)を学校備品として整備し、家庭の負担軽減を図ります。

担当課 教育委員会 35-2132

### ■不登校児童生徒学習サポート事業

予算:512千円

不登校児童生徒に対し多様な学びの場を確保し、学習面での復学を補助するため、学校外でのICTを活用した学習を導入した学習サポートを実施します。

担当課 教育委員会 35-2132

### ■探求学習サポート事業

予算:75千円

児童生徒の調べ活動を充実化しリテラシー等の能力育成を図るため、新聞WEBコンテンツ(記事データベース)を導入します。

担当課 教育委員会 35-2132

### ■「セカンドブック」「サードブック」事業

予算:133千円

本に触れあう機会を定期的に提供し親しみをもってもらい、読書習慣へつなげるきっかけを作ります。

《事業概要》

・3年間で3歳時及び小学1年生に1人一冊本の提供をします。

担当課 教育委員会 35-2132

### ■「ソクラテスミーティング in 沼田」

予算:395千円

キャリア教育支援として沼田町の子どもたちに地元企業を知ってもらい、沼田町をもっと好きになってもらい、将来の進路を考える上で参考にしてもらうため、中学生が町外に進学する前に、地元企業とそこで働いている大人の想いを知ってもらう少人数・対話型の講話会を実施します。

担当課 教育委員会 35-2132

### ■小矢部市青少年交流事業(受入)

予算:2,271千円

- 日程(予定) 8月下旬 3泊4日
- 訪問団(予定) 生徒 8名・引率 3名

担当課 教育委員会 35-2132



### ■沼田っ子の夢応援事業

予算:240千円

従来の合宿通学に、沼田学園で実践する「沼田学」にリンクさせた「ふるさと学習」や「家庭学習の習慣化」の要素を加えて実施します。

担当課

教育委員会 35-2132

### ■自然体験授業事業

予算:300千円

ほろしんの森を中心とした沼田町の自然に触れ、まちの自然の豊かさを知り、郷土愛を育むとともに、子どもたちが自然体験を通じて、非認知能力など生きる力を育むため、「そらち自然学校」のプログラムを沼田学園沼田小学校の授業において実施します。プログラムは「そらち自然学校」に委託し、より効果的かつ専門的な事業を実施します。

担当課

教育委員会 35-2132

## 08.健康

### 新規 ■外科医師派遣事業

予算:4,800千円

町立沼田厚生クリニックの外科医師が令和7年度をもって退職となることから、外科系医師の確保のため他病院へ派遣を依頼し町民の安心・安全な医療体制の整備を図ります。

担当課

保健福祉課 35-2120

### ■沼田厚生クリニック医療機器整備事業

予算:18,446千円

第10次中長期計画(令和6年度北海道厚生連策定)に基づき、グリコヘモグロビン・グルコース分析装置(血糖値検査)を更新します(5,885千円)。

また、消化器内科専門医の着任に伴い、胃及び大腸の内視鏡検査システム一式を整備します(12,561千円)。

担当課

保健福祉課 35-2120

### ■暮らしの安心センター指定管理

予算:31,500千円

直営で管理運営していた業務を社会福祉協議会に指定管理し、施設内で行われるクリニック及び町民向け各種事業等の継続と多様化する住民ニーズの対応を強化します。

担当課

保健福祉課 35-2120

## 09.福祉

### 新規 ■沼田版 CCRC 構想策定委託業務

予算:6,369千円

医療、介護を中心として将来にわたり持続可能なまちづくりの指針となる、全世代が活躍できるための実践的な地域包括ケアの基本構想を策定します。

担当課

保健福祉課 35-2120

### ■沼田町デイサービスセンター指定管理

予算:7,800千円

在宅の要介護高齢者の通所による各種サービスの提供を継続していくため、沼田町社会福祉協議会に指定管理委託をし、事業運営を行います。

担当課

保健福祉課 35-2120



## ■ 拡充 高齢者等入院交通費助成

予算:875千円

JR廃止に伴い助成額を増額します。

《事業概要》

- 助成対象者
- (1) 世帯主及び同居の親族が65歳以上の世帯員で構成されている世帯
  - (2) 世帯主が65歳以上の独居世帯  
(付添人が町内に居住する2親等以内の親族かつ基準日に65歳以上の方である場合)
  - (3) 世帯主が65歳以上の独居世帯  
(支給対象となる2親等以内の付添人がいない場合)
- ※(3)は入退院時交通費のみを入院者本人に助成  
※課税世帯及びその世帯と同居する方は対象外です。

- 助成内容
- [入院期間中の助成]  
入院期間中の付添人の交通費助成 入院日数÷2×(500円→1,500円)  
・助成額の上限 入院した同一世帯員1名に対し当該年度内入院日数90日限度
- [入退院時交通費の助成]  
・入退院時の交通費をそれぞれ5,000円助成

担当課

保健福祉課 35-2120

## ■ 拡充 外出支援サービス

予算:200千円

昨今の物価高等により、利用者負担が増していることから助成額を増額します。

《事業概要》

- 助成対象者
- ・在宅で生活する概ね65歳以上で要介護1以上の方等  
(町民税非課税世帯・均等割世帯 ※生活保護受給世帯を除く)
  - ・要介護3以上の認定を受けた方
  - ・身体障がい者1・2級の内、下肢・体幹機能に障がいのある方で介助を必要とする方
  - ・療育手帳でA判定に該当するもの

- 事業内容
- 医療機関への通院のためのハイヤー又は福祉有償移送サービスの利用助成  
利用料金の9割を助成(10,000円→12,000円/月上限)

## ■ ICT活用健康・見守り事業

予算:5,170千円

あるくらす団地・旭町高齢者住宅の配電盤に電力センサーを取り付け、1分ごとの電力データを基に、個人毎のライフスタイルカルテを作成し、本人及び遠方に住むご家族へお知らせすることで、一人暮らしの高齢者等が安心して住み続けられる見守りの充実を図ります。

担当課

保健福祉課 35-2120

## ■ 介護人材バンク事業

予算:1,500千円

高齢化と就労世代の減少の中で、介護分野の人材確保及び介護職員の介護技術の向上を図るため、研修に係る受講料・資格試験料に対し助成します。

《事業概要》

- 対象者
- ・町内に住所を有し、町内介護施設に将来にわたり就業予定の方
  - ・町内介護関連施設等で働いている方
- 助成内容
- ・研修受講費・試験料(一人当たり10万円上限)  
介護職員初任者研修(受講料)、介護福祉実務者研修(受講料)、  
介護福祉士(試験料)、(主任)介護支援専門員研修(受講料)、  
社会福祉士(試験料)
- 要件
- ・受講修了・資格取得後に沼田町介護人材バンクに登録いただける方 など

担当課

保健福祉課 35-2120



## ■介護従事者確保就業支援事業

予算:3,800千円

介護従事者の不足は全国的に深刻な問題となっていることから、町内に在住し、町内の介護施設に新たに就業される方に助成を行うことにより介護職員を確保し、安心して住み続けられるよう介護環境の向上を図ります。

### 〈事業概要〉

- ・就職支度金 50千円(就職時1回限り)
- ・住宅準備支援金 100千円(転入者1回限り)
- ・就業支援金  
資格あり300千円(1年間就業ごとに5年間助成・就職の翌年度から5年間交付)  
資格なし100千円(1年間就業ごとに5年間助成・就職の翌年度から5年間交付)

担当課 保健福祉課 35-2120

# 10.交通

## 新規 ■バス転換事業

予算:198,459千円

JR留萌本線廃止後においても、地域住民の通学・通院や日常生活に必要な移動手段を確保するためのバスの運行を実施し、持続可能な公共交通の確保を図ります。

### 〈事業概要〉

- ・利用実態を踏まえた効率的なダイヤの編成
- ・既存バス事業者等への運行委託や運行補助

担当課 産業創出課 35-2155

## ■沼田町留萌本線利用者代替交通支援事業

予算:184千円

JR留萌本線の廃線に伴い、石狩沼田駅・真布駅・恵比島駅間の利用者に対する代替公共交通として、町営バスの新規路線を追加して対応しますが、公共交通機関が措置されない時間帯が発生することから、タクシー利用に対する助成を行います。

担当課 産業創出課 35-2155

## ■町営バスの運行

予算:17,534千円

- ・路線名 幌新線 8便運行 東予線 3便運行
- ・乗車料金 町内1乗車 100円
- ※土日祝日、学校休校日、1/1～1/3は、一部又は全部を運休します。

担当課 建設課 35-2116

## ■乗合タクシーの運行

予算:18,425千円

- ・運行区域 町内全域(ほろしん温泉発着を除く)
- ・指定停留所 39カ所及び町営バス停留所(ほろしん温泉を除く)
- ・運行時間 8:00～17:00(9便/日) 18:00～19:00(碧水接続のみ)(1便/日)
- ・利用料金 町民 100円・町外登録者 200円

担当課 建設課 35-2116

## ■高齢者交通安全対策助成事業

予算:283千円

全国で高齢者による重大な死傷事故の発生が大きくなり、高齢者の運転免許を安全機能付き自動車のみにするとの法改正も提案される等大きな社会問題となっていることから、免許証の返納を検討する高齢者の経済的負担・移動負担の軽減を図ることにより安心・安全なまちづくりを進めます。

### 〈事業概要〉

- ・免許証返納報償 ※Numacaポイントで支給
- ・運転経歴証明書交付手数料助成 1,150円/人
- ・公共交通利用助成 沼田～深川間往復分の路線バスの乗車料金の10往復分相当額

担当課 住民生活課 35-2115



# 11.環境



## 新規 ■みんなで創る「ぬまたゼロカーボン」事業

予算:1,108千円

ゼロカーボンシティ実現のため、町民一人ひとりが主役となり、家庭ごみの分別や光熱水費の削減への理解を深める取り組みを行い、町民生活に無理なく、環境にも暮らしにも優しいまちづくりに取り組みます。

担当課

住民生活課 35-2115

## ■再生可能エネルギー設備等導入支援事業

予算:2,000千円

再生可能エネルギー設備(太陽光発電・太陽熱利用・バイオマス熱利用・雪冷熱利用等)を自己消費として事業の用に供する為に導入する費用の一部を助成します。

### 《事業概要》

#### ○対象者

- ①本町の住民基本台帳に記載されている者で自ら事業経営(農業者含む)を行っている者
- ②本町に事業所若しくは営業所を有する法人(農業生産法人、農事組合法人含む)
- ③新たに購入する再エネ設備等を設置する者

#### ○対象設備

- ・太陽光発電
- ・太陽熱利用
- ・バイオマス熱利用
- ・雪冷熱利用 等

#### ○補助要件

熱利用や発電に関係なく、再生可能エネルギーを自己消費により事業の用に供することを目的とした導入設備に限る。(売電を目的とする事業は対象外)

#### ○補助率

- ・雪冷熱エネルギー 4/5以内(上限2,000千円)
- ・その他再生可能エネルギー 2/3以内( " )

担当課

産業創出課 35-2155

## ■太陽光発電設備設置奨励事業

予算:1,000千円

自ら居住する持家、又は自ら居住するために建設する住宅、又は同一敷地内に、町内業者により新たに太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成します。

### 《事業概要》

- 助成額:設置費用の1/4以内(限度額50万円)

担当課

住民生活課 35-2115

## ■GX専門人材派遣委託料

予算:14,200千円

「地方公共団体のGX」の取組を強化するため、民間事業者から専門的な知見を有する人材を招聘し、ゼロカーボン・再生可能エネルギーの促進を図っていきます。

担当課

住民生活課 35-2115

# 12.DX

※DXとはデジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル技術を活用して業務プロセスや製品、サービス、ビジネスモデル、企業文化などを変革することを意味します。

## ■デジタル専門人材派遣業務委託料

予算:4,400千円

行政の業務効率化及び町民サービスの利便性向上を図る「自治体DX」を推進するため、民間事業者からデジタル技術等の専門知識を有する人材の招聘をします。

担当課

総務財政課 35-2111



# 13. 林業

## ■沼田町森林資源活用促進事業

予算:1,000千円

本町の森林資源を活用した木材加工品や特用林産物の商品開発及び製造に必要な取組に対する助成を行うことで、森林資源の循環利用の促進と森林の多面的機能の発揮を図ります。

《事業概要》

○対象者:沼田町内に住所を有する者。沼田町内に事業所を有する法人及び団体。

○補助率:事業費の2/3(上限1,000千円)

担当課

農業推進課 35-2114

# 14. 移住定住

## 新規 ■ペット共生住宅整備事業

予算:3,841千円

多様化する移住定住ニーズに応えるため、要望の多い「ペットと暮らせる住まい」の整備を進めます。北海学園大学のセルフリノベーション事業と連携し、既存の公営住宅2戸を改修いたします。

担当課

住民生活課 35-2115

# 15. 防災

## 新規 ■災害用ドローン購入事業

予算:5,800千円

自然災害、火災現場等の多種多様な災害に備えるために、災害用ドローンを導入し、災害情報収集、人命救助を行い沼田町の防災力を強化します。

担当課

総務財政課 35-2111

## 新規 ■防災のしおり(ハザードマップ)更新事業

予算:1,237千円

現在、各ご家庭にお配りしている「防災のしおり(ハザードマップ)」は、令和2年度に更新したものであり、その後の改正に対応し、日頃から防災への意識付けと災害発生時に適切な行動をとれるよう情報提供に努めます。

担当課

総務財政課 35-2111

## 新規 ■ヒグマ対策事業

予算:4,185千円

近年、人の生活圏にクマが出没し、町民の安全・安心を脅かす深刻な事態となっていることを踏まえ、緊急銃猟等の捕獲体制を強化し町民の暮らしを守る体制を整備します。

担当課

農業推進課 35-2114

## ■防災行政無線設備更新事業

予算:93,500千円

平成24年の導入より12年が経過し、設備が老朽化及び保守終息期限が切れることから防災無線に使用する機器の更新を行います。

担当課

総務財政課 35-2111





# 16.除雪

## 新規 ■ 除雪任意団体等組織設立検討事業

これまでの除雪状況の共有と持続可能な除雪体制の構築に必要な取り組みなど、事業者との意見交換により、民間主体による任意団体等組織の設立や支援制度の構築をサポートします。

担当課 建設課 35-2116

# 17.クーリングスポット

## 新規 ■ 安心センター空調設備整備事業

夏の暑い時期に利用する方が快適に利用していただけるために、また町民等が危険な暑さを避けるための避難できる場所としての役割を果たせるよう冷房施設をなかみちカフェ周辺に設備いたします。

担当課 総務財政課 35-2111

# 18.防犯

## 新規 ■ 防犯カメラ設置事業

犯罪の未然防止や事故・トラブル発生時の早期解決を目的に、防犯カメラを増設し、町民の安全・安心な生活環境を確保していきます。

担当課 住民生活課 35-2115

# 19.交通安全

## 新規 ■ 交通事故死ゼロ5,000日達成事業

予算:563千円

交通事故死ゼロ5000日達成という長期的な交通安全の成果を町民と共有するため、達成記念大会を開催し、今後の交通安全意識の一層の向上を図ります。

担当課 住民生活課 35-2115

# 20.公営住宅

## ■ 公営住宅環境整備事業

予算:195,321千円

- ・緑町団地B棟改修工事
- ・緑町団地19棟屋根葺替工事
- ・コアタウン21改修実施設計委託料
- ・旭町高齢者住宅改修実施設計委託料
- ・ディスプレイ設置工事
- ・入浴設備設置工事

担当課 住民生活課 35-2115



# 21.協働

## ■自治振興協議会『地域提案型まちづくり事業』 予算:1,000千円

町内会や住民組織が主体となって行う地域活動に対し助成を行い、町民・地域・行政が共に協働することで明るく住み良いまちづくりを行います。

《補助額》

- ・1年目 交付対象経費の合計額の10分の9以内(上限20万円)
- ・2年目 交付対象経費の合計額の10分の6以内(上限20万円)
- ・3年目 交付対象経費の合計額の10分の3以内(上限20万円)

担当課 住民生活課 35-2115

## ■自治振興協議会『害虫対策プログラム事業』 予算:150千円

近年大量発生しているマイマイガなどの害虫駆除を支援するため、自治振興協議会において害虫駆除用の噴霧器及び薬剤を購入し、希望する自治会や個人へ貸し出します。

担当課 住民生活課 35-2115

# 22.その他

## 新規 ■沼田町を応援する沼田ファン交流イベント事業 予算:4,389千円

ふるさと沼田町の振興発展・認知度向上を目的に「(仮称)NUMATAファンクラブ」を設立し、ファン(関係人口)の増加や、ふるさと納税に繋げるため、町出身者(東京沼田会会員など)やふるさと納税をしていただいた方を対象に、「沼田町を応援する沼田ファン交流イベント」を実施します。

担当課 総務財政課 35-2111

## 新規 ■電話音声録音装置導入事業 予算:2,269千円

役場庁舎の電話に、発信者に対する録音ガイダンス通知機能と通話の録音機能を追加し、電話受付の効率化とカスタマーハラスメント対策に繋がります。

担当課 総務財政課 35-2111

## ■キャンパスライスプロジェクト2026 予算:6,501千円

物価高に困窮する全国の大学生を対象に、ふるさと納税型クラウドファンディングにより資金を募り、ななつぼし無洗米2kgを無償提供し、大学生の生活支援による社会貢献と沼田町産米のPRを図ります。

《事業概要》

- ・雪中米ななつぼし無洗米2kgを無償配布

担当課 総務財政課 35-2111



# 町民参加型サポーター募集のご案内

1

## 子育て支援ボランティアを募集！

町民の皆様がもっている「知識」「経験」「技能」などを、子育て支援の場でぜひ活かしていただきたく、子育て支援ボランティアを募集しておりますので、たくさんの皆様のご応募をお待ちしております！

活動場所：子育て交流広場「えがお」

担当課 保健福祉課 TEL.35-2120

2

## ぬまたっ子サポーターを募集！

沼田の子どもたち(ぬまたっ子)が育つ「家庭」・「学校」・「地域社会」が協力体制をつくりながら、安全対策・非行防止のための多様な活動を全面的に展開していくことを目的に、「ぬまたっ子サポーター」の活動を実施しておりますので、皆様のご登録をお待ちしております。

担当課 教育委員会 TEL.35-2132

3

## 加工用トマトの作付けを募集！

家庭菜園で北のほたる完熟トマトジュースに使用する加工用トマト「なつのしゅん」を作付けいただける町民の方を募集しております！

・苗は用意してお渡しします！ ・1kg 40円（税込）で買取！ ・ハウスや支柱が不要な露地栽培です！

収穫したトマトを畑まで取りに行きます！ ・収穫用コンテナ貸します！

担当課 農業推進課 TEL.35-2114

4

## 高齢者等活躍応援事業の登録者を募集！

沼田町では、高齢者の方等が持つ知識や経験などを活かして働いていただける場を提供したり、社会参加に関する相談の窓口として、「高齢者等活躍窓口」を暮らしの安心センターに設けています。ご登録いただければ、ご希望の仕事やボランティア活動などについて必要に応じて紹介いたします。

担当課 保健福祉課 TEL.35-2120

5

## 還元型コエンザイムQ10試飲モニターを募集！

還元型コエンザイムQ10のサプリメントを毎日1粒飲んでいただき、年に2回の健康測定会に参加していただける方を募集しております！

担当課 保健福祉課 TEL.35-2120

まちづくりハンドブックに関するお問合せ

TEL.0164-35-2155(沼田町役場産業創出課) / FAX.0164-35-2393

発行日：令和8年3月発行